

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉1-1-18 いづみ荘103号室
新日本婦人の会狛江支部気付
連絡先：080-5084-1821（前土肥）
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第299号（2025年6月号） / 2025年6月1日発行

松原市政の施策と姿勢を浮き彫りに

豊かな狛江をつくる市民の会 2025年総会開かれる

5月17日（土）14時から東京土建狛江支部会館で開催しました。あいにくの土砂降りのなか、出席は21人でした。議長に周東三和子世話人を選出し、矢野裕共同代表が開会挨拶しました（全文別項）。

岡村しん市議による市政学習会ののち、前土肥事務局長が経過と方針を説明・提案しました。

6月の東京都議会議員選挙にあたり4月28日の拡大世話人会で、北多摩3区（調布・狛江）で立候補を表明している5人のうち、都政を転換する候補者として田中とも子さん（共産・元）を「会として支援・推薦したい」旨の要望を届け、ご本人から「会の思いに応える」旨の回答があったことが報告されました。

若見会計が2024年の決算と2025年の予算を

説明、続いて田中とも子さんから挨拶（別項）がありました。

参加団体の東京土建狛江支部牧岡義隆書記長、新日本婦人の会狛江支部風間ゆり事務局長、こまえ年金者の会岩崎安男会計、こまえ社会保障推進協議会岡村誠会長、狛江生活と健康守る会重国毅さん、フロアから昨年の中学教科書検定の結果について和田哲子さん、平和フェスタについて西尾真人さん、PFASについて重国さんが発言しました。

最後に和田哲子世話人が「絹山さんに頼りっぱなしだったのが、会報もたくさんの方が関わるように変わり良かったと思う。これからもやっていっていただきたい」と挨拶し、16時閉会しました。

「市民と野党の共闘」の再構築を 矢野裕共同代表挨拶

本日は「豊かな会」総会においでいただき、ありがとうございます。

来月は都議選、7月には参院選があります。この2つの選挙は私たちの目標実現に向けても重要な闘いで、自公政権が衆院に続き参院でも過半数を割れば、日本の政治や経済を大きく転換させるチャンスとなります。

自民党政治の大本は、アメリカへの従属と大企業・富裕層優先の政治で、いわば国民の生活や安全を脅かしている諸悪の根源です。戦争準備をやめ、近隣諸国との信頼関係を深めれば、軍事費を5年間で34兆円も増やす必要はなくなります。大企業や富裕層への優遇税制の廃止をふくめ、それらを国民に還元すれば、消費税減税や、憲法25条のいう「健康で文化的な最

低限度の生活を保障する財源を生みだせるのです。

しかし、一部の野党は個別の要求実現と引き換

えに当初予算を丸ごと通すなど、自公政権の延命に手を貸しています。またSNSを武器にする新しい政党は、野党すべてを自民党と同じ既得権益を守る勢力だと攻撃しています。こうした政権にすり寄る野党の動き、野党を分断する動きにブレーキをかけるのは国民世論であり、だからこそ「市民と野党の共闘」が政治転換に不可欠なのですが、今度の参院選では実現しませんでした。



た。

共闘が曲がりなりにも機能しているのは、もはや東京と沖縄だけかもしれません。都議選でも正式な共闘には至りませんが、それでも立憲野党が住み分けという形で、ここ北多摩3区を含め競合回避できたのは、東京では共闘を求める草の根の運動が各地でなお奮闘していること、そして都議会で野党第一党の共産党が、野党共同の要の役割を果たしていることが大きな要因

です。都議選で共闘推進の候補を一人でも多く勝たせ増やすことが、要求実現の力となり、さらに共闘に立ち帰ろうという機運を全国で高めることになると思うのです。

本総会でも、住民が主人公の政治を築くために、「市民と野党の共闘」を新たな政治状況にふさわしくどう再構築するか、活発な意見交流を心から期待し、挨拶いたします。

市独自の施策がほとんどない松原市政 岡村しん市議報告

日本共産党岡村市議から、新年度予算や松原市政の施策、姿勢を語っていただきました(以下、要旨)。

今年度は過去最高の予算で。税収が増えているのは、高齢でも働き続ける人が増え市民税が増えたこと、NISA 利用者が増えたことなどです。いま必要なのは物価高騰対策だが市独自でやるものはほとんどなく、特に低所得者支援がありません。一方で、市長副市長や議員の給与を上げました。

共産党市議団は1億6,600万円の予算組み換えで家賃補助制度、訪問介護の負担軽減、生活保護受給者への夏期見舞金制度やエアコン補助設置、昨年引き下げられた障害者の外出支援金はすべて元に戻すこと、PFAS 検査拡充、多摩地域で最も火事被害予測大きい狛江市で感震ブレーカー助成や家具転倒防止器具の費用補助、中学校の修学旅行費を無償にし、私立や不登校の児童にも給食費無償をと提案したが

取り入れられませんでした。

市の黒字額は毎年15億円。そのうち11億円を貯金して十分市民要望を実現する財源はあり、基金残高は77億円に及びます。



市長に平和都市宣言を進める取り組みや、国に核兵器禁止条約を求めるか問うとはっきり答弁しません。選択的夫婦別姓も「婚姻制度や家族の在り方と関係する重要な問題」、国会での政府答弁と同じ、第7次エネルギー基本計画は原発帰りで、CO2削減も国際計画に届かないが、「本計画の内容には理解をしております」と、国の計画に理解を示しています。

まちづくりの主人公が市民という基本的な考え方が大きく後退した

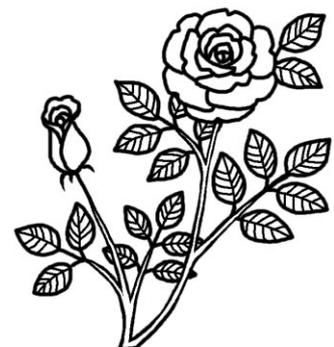
狛江市の「市民参加と協働」が後退しています。松原市政は、図書館公民館を2020年8月に分割移転を決め、2022年の決算質疑で政策室長が市民アンケートについて「直接伺うことは行っていない」と答弁しながら進めました。住民投票条例制定を求める署名は法定数の3倍集まったが、議会として否決され、逆に条例

改定に「企業」が加わり、まちづくりの主人公が市民という基本的な考え方が大きく後退しました。狛江駅北口でも、市民説明会や市民アンケートはやられていないまま、駅前樹木の伐採が行われました。都政国政が変われば、狛江市政も変わっていく。来年の狛江市長選の状況が大きく変わります。

会費・会報支援カンパのお礼とお願い

振込や総会でみなさんから会費・会報支援カンパをいただきました。ありがとうございます。しかし、今後の運動や来年の市長選挙に向けて財政は不十分です。また定期発行を続けている会報「豊かな狛江」もこのままでは維持が困難です。

どうぞ、会費・会報支援カンパを寄せてくださいますよう重ねて願い申し上げます。



都議選で田中とも子さん（共産・元）を推薦（6月13日告示、22日投票）

総会でのあいさつ（要旨）を紹介します。



豊かな会が
1996年以來29年間、一貫して市民本位の市政の実現、国政や都政を変えるため力を発揮されて

いることに心から敬意を表します。私も97年から参加をさせていただいています。前回の選挙では354票の差で議席に届きませんでしたが、今度こそ都政に送り出して働かせてください。

現在、立候補を表明しているのは、自民党と都民ファーストが現職、公明党が新人に交代、再生の道の新人と私の5人です。はっきりしているのは、私が唯一の野党候補だということです。党派を超えて、私に野党の1議席を確保させてほしいと訴えています。

共産党は都議会では野党第一党で学校給食費無償化など都政を動かしてまいりました。物価高騰のもとで暮らしをまもるために、中小企業賃上げ支援をはじめ5つの提案をしています。

市政でも多くが都政に関係があり、水害対策は

都の支援を25%に引き上げさせましたが、下水道管の老朽化対策はたった2.5%。市議のみなさんと一緒になって、補助を引き上げ老朽化対策を進めるため力を尽くします。

路線バスの縮小削減で多くの市民が困っています。東野川地域のバス停で、京王バス・小田急バスとの交渉結果のチラシを渡すと「これこれ、これなんだよ。ぜひやってくれ」という声が多く寄せられました。両社とも東京都が運転手確保のための財政支援をしなければ限界だということで一致しました、路線バスの維持と充実のため全力でとりくみます。

豊かな会のみなさんと確認書で確認させていただいた、9条改憲阻止、暮らしと命を守る都政に転換するため先頭にたって頑張ります。みなさんの力強いご支援を大きく広げていただけますよう、よろしくお祈りします。

田中とも子さんのプロフィール

▼西野川・神代団地在住▼1957年山形県生まれ。教師を志し、巫女として働きながら國學院大學Ⅱ部文学部卒▼子ども3人を育てながら都議に初当選（1期）▼狛江市議（通算4期）。19年狛市長選に挑戦▼前回21年都議選では354票差で次点▼趣味は映画観賞、読書。

「あの夏の絵」公演を成功させるために さらなるご協力を

日時：7月3日（木）午後6：30開演
（開場6：00）

場所：エコルマホール
チケット代：一般3000円、学生・高校生
500円、小・中学生 無料

『あの夏の絵』狛江公演を成功させる会」がチケットの販売を始めて、2か月が経ちました。その間、身近な方々をお願いをしてチケット販売の協力をお願いする一方で、他団体への協力のお祈りや、

一回り大きく広げるための宣伝にも力を入れてきました。明治大学登戸研究所を訪問、平和授業の受講生に訴えるなど、新しい機会を得ました。市内のキリスト教会、沖縄の南灯寮、商工会などにも協力を求め、チラシを置かせていただきました。また、谷田部前市議会議長を訪問して推薦をいただきました。

小・中学校、狛江高校にチラシを配布し、各公共施設にちらしを置き、ポスターを少しずつですが商店などに貼らせていただき、雰囲気盛り上げつつ

あります。「わっこ」の取材も受け、6月1日号のスポット欄に掲載予定です。狛江市内だけではなく、調布や川崎、世田谷などにも知人・友人を通して広げています。

とはいえ、チケットの販売は簡単ではありません。黙って待っていれば売れるというものではありません。積極的に声を掛けていかなければエコルマホールを満席にすることは出来ません。

「原爆の絵」は原爆を直接知らない高校生が被爆者の証言を聞いて、その被爆者の記憶を絵という具体的な視覚に訴える記録として継承されるものです。被爆者と高校生の血の滲むような葛藤と決意によって成し遂げられたことが、この演劇を通して、私たちに訴えてきます。

この演劇から得るものは人それぞれですが、演劇の可能性とともに、様々な考えるきっかけを得られることでしょう。被団協の田中熙巳さんではないですが「見ないと損です。」

「豊かな狛江」の読者の皆さん、多くの市民に観ていただくために、チケットは演劇としては安くしています。周りの知人・友人に声をかけてください。エコルマ公演を成功させ、戦争も核兵器もない平和な世界を築く一歩としましょう。



被爆80年、世界から核兵器をなくそう！
ノーモア！ヒロシマ・ナガサキ ノーモア！ヒバクシャ
日本被団協ノーベル平和賞受賞記念

青年劇場 「あの夏の絵」狛江公演

7月3日(木) 18:30~20:30 (開場:18:00)
会場:エコルマホール (狛江駅前)

チケット代:一般 3000円、学生・高校生 500円
小・中学生無料 (チケットはお持ちください)

広島市立基町高校が、平和記念資料館の依頼で被爆者の証言を聞き取り、絵に描くことで被爆体験を継承していく取り組みを続けています。その取り組みをテーマにしたのがこの作品です。平和に想いを馳せる機会になることを願っています。



田中熙巳さん(日本被団協代表委員)も絶賛。
「素晴らしい舞台です。ぜひ、見てください。見ないと損です。」



撮影:石谷 誠

主催:「あの夏の絵」狛江公演を成功させる会

共同代表 牧岡 善隆(東京土建狛江支部) 岡東三和子(新日本婦人の会狛江支部) 大熊 啓(猪方在住)

後援:狛江市、狛江市教育委員会、狛江市社会福祉協議会、狛江市音楽連盟

連絡先	東京土建狛江支部 狛江市猪方 3-25-37 03-3480-9761 komaie@tokyodokenkomaeshibu.jp	岡東三和子 新日本婦人の会狛江支部 090-9012-0654 mshuto2612@kym.biglobe.ne.jp
西尾真人	こまえ平和フェスタ実行委員 web-mail@komaie-heiwa-fes.clean.to	広木澄子 an2006ge@yahoo.co.jp

狛江駅前宣伝(当面の予定)
6月6日(金)午後 4:30~5:30

ミサイルでなく、憲法で平和をつくり出そう 2025 憲法大集会に3万 8,000 人

憲法施行から78周年を迎えた5月3日(土)、憲法を守り生かそうと全国各地で集会やデモが行われました。

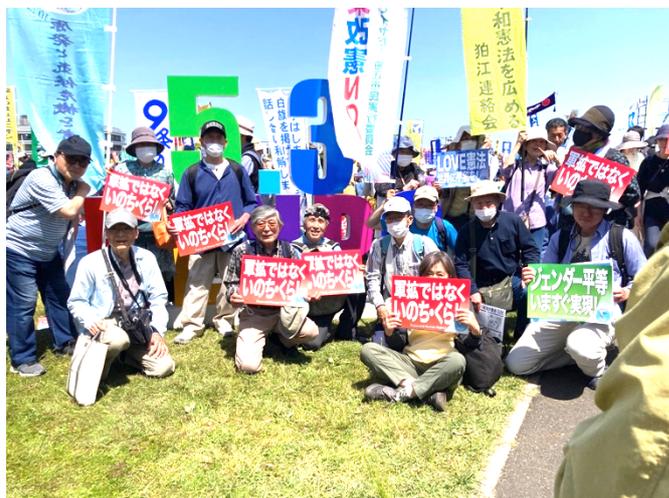
東京では「未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025憲法大集会」が有明防災公園(江東区)で開かれ、晴天のなか3万 8,000 人が参加。ステージにあがった5政党・会派の代表とともに「LOVE 憲法」「軍拡でなくいのち・くらし」などと書かれたプラカードを掲げてアピールしました。

実行委員会を代表して菱山南帆子さんが「共同の憲法集会になって10年。幾度も訪れた改憲の危機を跳ね返してこられたのは憲法集会など粘り強い市民運動があったから」と強調し、「ミサイルでなく憲法で平和をつくりだそう」と総がかり行動実行委員会の軍拡に反対する新署名で対話を広げ、参院選で改憲勢力を追い詰めようと呼びかけました。

市民が次々に登壇。日本被団協田中熙巳代表委員

前土肥 保

は「世界は核戦争が始まるかも知れない危険な状況にある」「核兵器は絶対につくってはいけないという規範を70年にわたって作り上げ、80年間核戦争を起さなかった被爆者の努力を是非引き継いでほしい」と訴えました。



6月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
 ※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、280部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(火) 15時～16時	狛江駅前	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
6日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」7月号 編集会議	
6日(金) 16時30分～ 17時30分	狛江駅前	「あの夏の絵」狛江駅宣伝	「あの夏の絵」狛江公演を成功させる会
9日(月) 14時～	東京土建狛江支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください
9日(月) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動＝駅前署名・宣伝	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
13日(金)		東京都議会議員選挙告示	14日～21日 期日前投票
19日(木) 13時30分～	西河原公民館 学習室1	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
22日(日)		東京都議会議員選挙投開票	
25日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部が中心。第4水曜日。
26日(木) 14時～	東京土建狛江支部会館	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会 全体相談会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください
30日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
7月1日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』7月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。

「うせろ」発言問題投稿に対するご意見②

本誌2025年4月号の重国たけし氏の投稿について、前号で読者からの投稿をご紹介しましたが、投稿者より、筆者に断りなく主張の根拠になる部分を割愛したこと及びイニシャルで掲載したことについて抗議がありました。ご了承を得ていなかったことについてお詫びするとともに、改めて全文を掲載いたします。（編集委員会）

本誌2025年4月号への重国たけし氏の投稿を読みました。狛江市議三宅氏の「うせろ」発言を中心に論じています。私はその主旨に大筋で賛成です。しかし話の前提に間違いがあると思います。投稿は「『うせろ』は、消え失せろ、消えてなくなれという意味ですから、全否定であり…」としています。これは何割か間違っていると思います。

まず形式的な話を片付けてしまいましょう。「『うせろ』は、消え失せろ…という意味」という文脈は、「うせろ」を説明する中に「失せろ」が使われていますから意味をなしません。だから除外します。残るのは「『うせろ』は…消えてなくなれという意味」という文脈です。果たしてそういう意味なのでしょうか。

私は「立ち去れ」の意味だとずっと思ってきました。また通常その意味で使われると思います。参考資料を見てみましょう。

《岩波国語辞典 第三版
うせる【失せる】①あるはずのものが、なくなる。(イ)薄れて消える。「力が一」(ロ)見えなくなる。「消え一」(ハ)死ぬ。▽(1)は古風な言い

方。②「去る」「行く」「来る」を、いやしめて言う語。「出て一・せろ」▽「行く」「来る」の意では、今は使わない。》

〔稲浦註：岩波国語辞典では、注釈中で本文の「①」を指し示すのに「(1)」を使います〕

ここでは2つの意味が区別されています。そして②のみに「失せろ」の用法が載っています。「①は古風な言い方」ともあります。また①の意味での命令形「失せろ」は、この語そのものの意味にあまりそぐわない気がします。①の意味で、即ち「消えてなくなれ」という意味で三宅氏が言ったとは、少なくとも断定することはできません。

《Google AI の解説

「失せろ」は、相手に立ち去るように強く命じる際に使われる表現です。憎悪の感情を込めてののしっている意味もあります。

「失せる」には、なくなる、消える、いなくなるという意味があります。》

こちらには端的に「立ち去れ」という意味だとあります。

「うせろ」発言の現場に居合わせて、三宅氏の剣幕からは「消えてなくなれ」と言っているように感じた、というのならまだしもですが、「うせろ」の字を見て平均的、標準の意味ではなく解して、人を必要以上に悪く言うことは良くないと思います。この投稿を載せたこの会と本誌も信用を失いかねません。よって私はここに投稿しました。

2025/4/6 東野川 稲浦駿介

狛江市民大学「街の緑」を見直す

—温暖化・ヒートアイランド激化の中で—

藤井英二郎氏のお話を聞いて 林 健彦



5月17日上記学習会が西河原公民館で開催されました。雨にもかかわらず

31名が参加。藤井氏は多くの図表データや国内外の事例写真を使って日本の街路樹の現状と課題、対応策をわかりやすく説明。質問も

多く出され、参加者にも好評でした。以下簡単に紹介します。

日本の街路樹の現状と課題

最近の街路樹は高木を切詰め、庭木のようにコンパクトにまとめたまるで電柱のような強剪定が多く、緑陰が少ない、寂しい街路樹となっている（原因は職員の専門性低下、予算減による一括剪定の増加、街路樹管理基準、関連法令の不備など）

また根元保護が不十分な管理で衰弱・腐朽樹木が増加している。（工法手順として海外では植栽基盤整備、植栽、歩道舗装の順だが、日本では舗装が先なため不適切な管理が増える）

その結果、樹木被覆率（枝葉が地面（舗装面）を覆う比率）が東京では9%がこの7年で7%に減少した、一方海外では20数%。

※樹冠による舗装面被覆により路面温度は20℃下がる、また樹木被覆率30%で暑さ起因死者数が約40%減との海外医学誌データあり。

さらに海外では車線を減らして植樹帯化するなど街路樹の拡大を図っているが、日本では見通しが悪くなると低木を植えない、高木の抑制剪定が主流と対照的な対応。2001年の道路構造令改正で交通機能に「緑」空間の増大が追加されたが…。成長が遅く、落葉苦情がなく、管理費も少ない樹種としてハナミズキ、サルスベリが好まれる。緑陰効果は小さいが。

解決策として街路樹管理体制について3点ご提案

- 1 管理目標の明確化と共有がだいじ
 - ・地球温暖化対策として直射日光を遮る樹冠被覆増大の必要性の認識と共有
 - ・土壌面の増大：植え柵（根元保護）の植樹帯化→点から線へ。雨水の保水、蒸発による地表

温度の低下を促す

2 街路樹管理体制の構築と継続

- ・専門職員の養成、知見・技術継承：剪定方法、受託業者への指示と結果の評価など

3 街路樹情報のデジタル化・公開と「緑は市民の共有財産」意識の醸成

- ・街路樹台帳の作成（デジタル化）と公開、蓄積

最も苦情の多い落葉対策については税金投入、落葉受忍条例、市民協働による落葉清掃まで様々な事例がある、選ぶのは自治体（市民）。

狛江の街路樹・みどりは今…

午前中市民大学の運営委員さんらと藤井氏をご案内しました：駅前ほこ道、いちょう通り、市役所前、六郷さくら通りの街路樹（一部学習会でも言及あり）。

ほこ道については剪定しすぎ、根元周りについても工事による損傷を心配されていました。賑わいをうたうなら定期的な点検は必須とも。

講演の冒頭狛江市のみどりについて、「緑の基本計画（2020）」では樹木の占める割合を含め軒並み減っており、公園以外の公共施設の緑をいかに増やすかが課題とのお話でした。コンクリートなど人工構造物（グレーインフラ）に対し、最近グリーンインフラ（農地や水辺など自然を活用したまちづくり）が注目されています。ただ雨水浸透、屋上緑化はよく取上げられますが、身近な街路樹は忘れられがちです。猛暑対策にとどまらず、街路樹を伸び伸び育てることはCO2削減にもつながります。水と緑をうたう狛江市は今こそさびしい街路樹から心やすらぐ街路樹をめざしてほしいと思います。

※講演についてはユーチューブで公開検討中

大軍拡・インボイス反対！紙の保険証は復活を！

5.31 駅前リレートーク&市民デモ

5月31日（土）

午後2時開会 狛江駅北口

リレートーク後、南口に移動

午後2時45分デモ出発予定

戦争なんてイヤだ！市民実行委員会

デモコース（約30分）

狛江駅南口バスロータリー近くのつつじ児童遊園⇒

世田谷通りを左折⇒狛江三叉路（狛江通り）を左折

⇒和泉中央児童遊園で解散

政府は、裏金問題や団体献金の問題も解決しないまま、インボイス制度での増税や、子育て支援にまたも負担を強いるなど、国民にばかり、負担を押し付けようとしています。

また、マイナンバー制度を押し進め、保険証や免許証も紐づけにして、強行に監視社会を作ろうとしています。戦争で苦しんでいる国外の人たちの事も考えず、相変わらずの憲法改悪や、軍事費の拡大などもあり、こんな政治は我慢できません。思い思いのプラカードや旗などを準備し、大勢の参加で成功させましょう。

狛江の自然



1月4日



1月10日



5月1日



5月20日

センダン

冬を彩る野川のセンダンの木。バッサリと切られたが、5月には写真のごとし。植物の逞しさよ。

(和泉本町 西尾 真人)